



みんなを元気にしたい
伊東市民病院

皆さん初めまして、これから伊東市民病院の初期研修プログラムの説明を始めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。
スライドは字幕版となっておりますので、読んでいただければ分かる内容となっています。

目次

01

はじめに
伊東市について

02

地域医療振興協会紹介
設立の経緯・運営理念

03

伊東市民病院紹介
所在地・診療科・理念

04

救急医療
医療体制・症例

05

初期臨床研修センター
プログラム・体制・設備

06

プログラム内容
ローテーション例・研修施設

07

学び
勉強会・シミュレーションセンター

08

環境
宿舎・院内環境

09

待遇
給与・福利厚生

10

質問コーナー
研修医の本音

01 はじめに伊東市民病院がある伊東市についてご紹介をさせていただきます。伊東市は静岡県伊豆半島にある観光地です。令和7年の人口は64,438人です。温暖な気候を生かし、温州ミカンやニューサマーオレンジなどの柑橘類やお茶の栽培が盛んで、海に面しているため鮮魚や干物も有名です。温泉が噴出し市内共同浴場の七福神巡りなどで温泉を満喫できます。噴火でできた伊東の象徴大室山や小室山、一碧湖、溶岩流でできた城ヶ崎海岸など、美しい自然に恵まれた街です。伊東市は静岡県の最南端にありますので、お隣の神奈川県を経由して東京まで1時間半で行ける程よいアクセスもまた魅力の一つです。全国的に見ても本州の中央にありますので東西南北出かける際は比較的便利な場所になっています。自然が大好きで程よい田舎暮らしをしてみたい方、観光地に住んでみたい方、大歓迎です。



人口：64,438人（令和7年）
特徴：みかん
お茶
ひもの
温泉
大室山
小室山
一碧湖
城ヶ崎海岸

みかんの花咲く丘 伊東市

01



公益社団法人

地域医療振興協会

Japan Association for Development of Community Medicine

地域医療を支援し、それによって地域の振興を図ることを目的に設立されました。

02

8つの初期臨床研修病院

東京ベイ・浦安市川医療センター

東京北医療センター

練馬光が丘病院

横須賀総合医療センター

横須賀市立市民病院

伊東市民病院

三重県立志摩病院

市立奈良病院



O2 次に当院の説明の前に欠かせない地域医療振興協会の紹介をさせていただきます。地域医療振興協会とは、「いついかなる時でも医療を受けられる安心を、すべての地域の方々にお届けしたい」という信念のもと、自治体からの委託等を受けて病院、診療所および保健医療福祉複合施設の運営を行っている公益社団法人です。現在、全国86の病院、複合施設（診療所&介護老人保健施設等）、診療所、介護老人保健施設、2看護専門学校を運営しています。病院の中には8施設の初期臨床研修病院があり、どの病院も協会のネットワークを生かして、へき地医療や特徴的な地域医療研修ができる初期臨床研修プログラムを実施しています。伊東市民病院もそのうちの1つの病院になります。研修医は令和7年度協会全体で49名が所属しており、新入職のオリエンテーションや地域医療セミナーなどのイベント、また研修先の病院で一緒になったりと交流の場もあります。



市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します

伊東市民病院

所在地：伊東市岡196番地の1

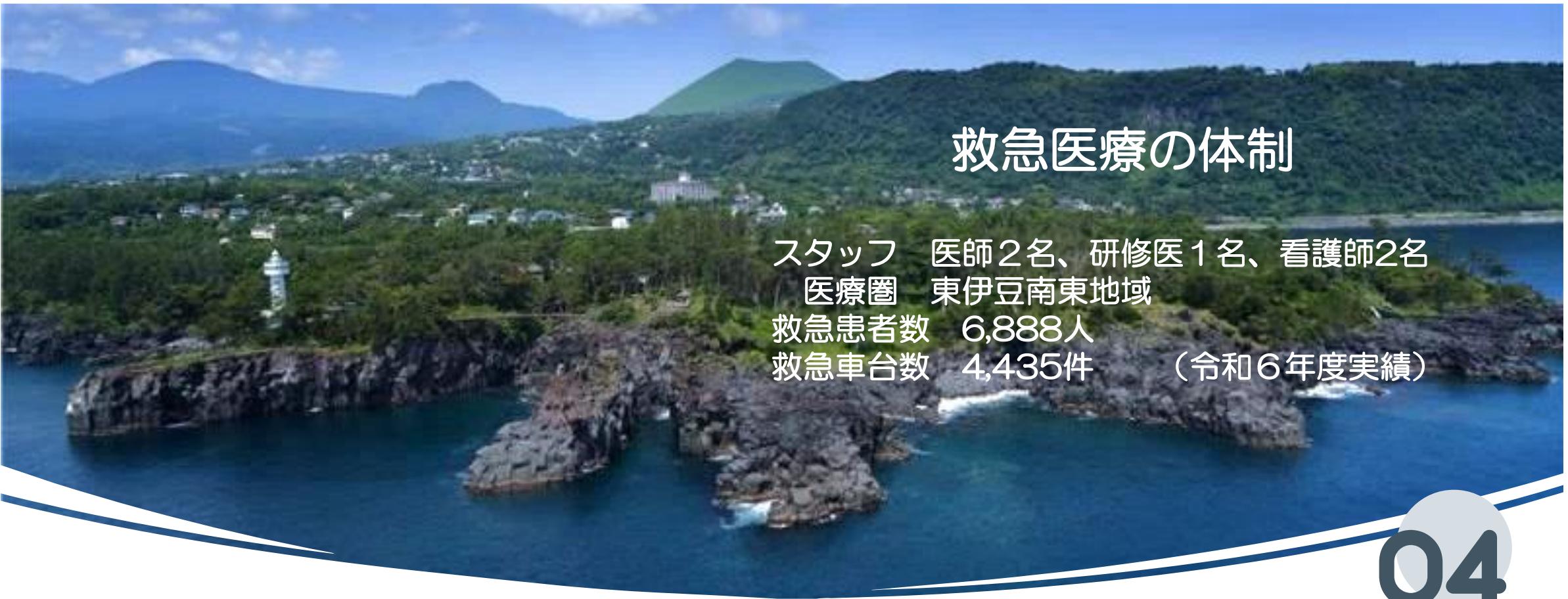
診療科：18科

内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科

(令和6年1月～令和6年12月実績)

救急指定	病床数	医師数	平均の患者				
2次救急	250床	48名	外来患者 392名/日	入院患者 169名/日	救急車搬送患者 12名/日	救急外来患者 19名/日	心肺停止状態搬送患者 134名/年

03 それでは伊東市民病院の概要になります。病床数は250床で18の診療科を有し、急性期医療をおこなっている2次救急病院です。「市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します」という理念を掲げ、患者さんが安心して過ごせるよう日々努力しています。在宅訪問診療も実施しており、救急・入院・外来・在宅と一貫した地域包括ケアシステムの役割も行政と連携しながら担っています。伊豆半島は、ユネスコから伊豆ジオパークとして認定された多くの観光客が訪れる地域でもあり、観光客の生命も守っている病院です。常勤の医師数は48名、1日の外来患者数は392名、入院患者数は169名と小規模ながら、救急車は毎日平均12台を受け入れ救急外来の患者数は平均19名です。常勤医師が少ないため、当院の研修医の役割は多く、戦力として院内で活躍してくれています。



救急医療の体制

スタッフ 医師2名、研修医1名、看護師2名

医療圏 東伊豆南東地域

救急患者数 6,888人

救急車台数 4,435件 (令和6年度実績)

04

救急の特徴

- ・断らない救急なので全ての疾患がきます。令和6年度統計では668病名ありました。
- ・高齢化率40%以上の地域がら誤嚥性肺炎など高齢者の疾患が多い。
- ・地域ならではの疾患としては、温泉でレジオネラ肺炎、マダニで日本紅斑熱、魚を食べてアニサキスなどがあります。

04 先程も説明したとおり、当院は小規模ながら救急医療に力を入れ「ことわらない救急」を実践している病院です。東伊豆南東地域の医療圏を担っており、非常に多くの症例が集まる病院です。日中のスタッフは医師2名、研修医1名、看護師2名。救急科の研修では、研修医がファーストタッチで患者さんに接しすぐに先輩に相談できる環境です。自分で診断しオーダーを出し治療するといった実践的な経験が積めます。大変なこともありますが多くの研修医が救急科で力をつけています。

令和6年度は6,888人の救急患者と、4,435件の救急車を受け入れました。令和7年度には救急医療功労者に送られる厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。この表彰は多年にわたり地域の救急医療の確保や救急医療対策の推進に貢献した個人や団体に贈られるものです。24時間365日救急受入を実践してきた当病院の努力が認められたことは大きな励みとなりました。

05

初期臨床研修センター

所属長：荒川 洋一（小児科部長・総合診療科部長）

研修医：J1（7名） J2（8名）

指導医：21名（内科7、外科3、その他の診療科各1）

専攻医：6名（東京ベイ、麻生飯塚、東海大、東京北など）

事務員：2名（専属）

研修体制：屋根瓦式

研修評価：PG-EPOC

設備：研修医専用ルーム・机・ミーティングルーム・

書籍・電カルテ・共用PC・プロジェクター・

冷蔵庫・電子レンジ・ポット・仮眠室



05 それではここからは研修医が所属する初期臨床研修センターの概要についてご紹介いたします。センターに所属する研修医は現在16名です。令和8年度から定員が6名になりましたので今後は少し人数が減ります。指導医は全部で21名、うち内科が7名、外科が3名、各診療科に1名ずつとなっています。その他に東京ベイ浦安市川医療センターから3ヶ月交代で専攻医が支援に来ています。当院の専攻医も含めると内科には常時6名以上の専攻医があり、研修医は年齢の近い先輩へ気軽に相談ができる環境です。その他2名の事務員が常駐しておりますので、研修医のサポートをきめ細やかに行ってています。研修医の評価はP-EPOCという評価システムを利用してその入力状況で修了を判定しています。当院の研修医はしっかり要件を満たし修了していきます。センター内の設備としては各自の机が完備され、勉強や休憩など1人の時間も確保しながら、研修医同士の団欒の場にもなっておりアットホームな雰囲気があります。病院見学ではこういった雰囲気も感じていただけると思います。

プログラム

研修の特徴

地域医療指向プログラム（定員5名）
地域医療重点プログラム（定員1名） 静岡県キャリア形成プログラムの対象者

- ・1年弱院外研修があるが、各施設のいいとこどりの研修スタイル
- ・東京ベイ浦安市川医療センターの専攻医が常時おり、自身も東京ベイで研修スタイルの違いを学べる
- ・地域医療研修先が豊富で2～3か月間、離島、へき地、豪雪地帯などの地域医療が学べる
- ・個人の希望に配慮したきめ細やかなローテーション調整で安心して研修スタートができる

ローテーション例

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
1年次	内科＋一般外来			救急科	小児科	外科	麻酔科	東京ベイ 内科		選択	選択	
2年次	内科 ＋ 一般外来	救急科	小児科	産婦人 科	精神科	地域医療		選択	選択	選択	選択	
							地域医療重点プログラム 医師少数区域					

06 当院では2つの研修プログラムを実施しています。そのうちの一つである地域医療重点プログラムは、静岡県キャリア形成プログラムの対象者が4月に早期マッチングができるというメリットのあるプログラムとなっています。必修の科目については医師法で定められていますのでどこで研修しても不足はありませんが、当院の特徴としては院外での研修が多いという点です。例えば院内で症例や経験が不足と思われる科目については、それを補うために院外で研修をおこないます。また、産婦人科や小児科は地域の患者さんが少ないとから患者数の多い都会の病院で研修をおこないます。精神科は専門病院にいきます。2年間の研修のうち1年近くは院外で研修することになりますので、色々な病院を経験したい方には最高のプログラムとなっています。また内科でも当院のようにファーストタッチから退院調整まですべてに携わる内科と、東京ベイ浦安市川医療センターのような専門性の高い診療を持つ病院で他科へのコンサルテーションや最新のEBMが学べる、違うスタイルの内科を経験して頂く機会もあります。当院には常時東京ベイの専攻医がいておりますので、院外とはいえ顔見知りの先輩がいで安心して研修に行くことができます。地域医療の研修では毎日外来を行い訪問診療の機会も多く、患者さんとのコミュニケーションの大切さを2か月間たっぷり学ぶことができます。地域医療重点プログラムは地域医療が3ヶ月で医師少数区域を研修します。選択研修は皆さん様々に希望され、進路に合わせた院外の専門科目を研修することもあります。ローテーションは個人の進路に合わせ個別に作成をいたしますが、1年目の4月は全員で内科を研修することになっており、カルテの使用法や院内ルールなどを学びながら業務の不安を解消しつつ安心して研修がスタートができるように配慮をしています。

07 院内の学びについてはどんなものがあるかをご紹介します。

【研修医のための勉強会】

研修医は年に数回症例発表を担当し、指導医や上級医からのアドバイスを受けます。また、専攻医が研修医向けにレクチャーをおこなったり、指導医の講義（HDB）は毎週時間をとって開催しています。研修修了の要件である病理検討会（CPC）については2か月に1回開催しており、研修医がスライドを作成し病理側と臨床側に分かれてディスカッションをおこないます。また自由参加でNEJM抄読会や、院内研究発表会という多職種の発表会なども定期で開催されています。

【カンファレンスや院内ネットワークの活用について】

院内のカンファレンスは毎日ありますが、地域医療振興協会内のネットワーク（Teams）で他施設のカンファレンスや有名な医師の講義も視聴し放題となっています。オンライン文献検索などもあり医中誌Webやメディカルオンラインが無料で利用できます。

【シミュレーションセンターについて】

院内にはシミュレーションセンターがあります。1年目の研修医は4・5月にシミュレーターを使用して手技の講義を受けます。縫合・中心静脈カテーテル・腰椎穿刺、その他、心・腹部エコーヤ採血・医療機器の取り扱いなど看護部と合同の研修などもあります。シミュレーションセンターはいつでも解放されており、手技の練習を自発的におこなっている研修医もあります。



学び

07



08

温泉 源泉かけ流し



宿舎：病院から徒歩7分 家賃25,000円 駐車場無料

08 病院と宿舎には源泉の違う温泉がそれぞれあります。日々疲れた身体を温泉で癒すことができます。研修医が引っ越しの際は「温泉無しではいられない」と言って去っていくくらいです。宿舎は病院から徒歩7分の高台にあり、家賃25,000円で入居ができる、駐車場も無料です。スーパー、ドラッグストア、100円ショップも徒歩圏内にありますが、車持ちの研修医は半々くらいです。病院の敷地内には保育所がありお子さんがいても安心して働くことができます。職員食堂では一食350円で利用ができ、ヤマザキショップやカフェやまももで手作りパンも販売しています。サークル活動では地元のマラソン大会に参加したりゴルフやダイビングなど地域ならではのサークルもあります。



子育て支援



350円



コンビニ



手作りパン



マラソン

09

待遇



勤務時間： 平日 8:30~17:00
土曜 8:30~12:30/月2回

休暇： J1 (10日/年) J2 (11日/年)
リフレッシュ休暇 (3日)
特別休暇 (慶弔、コロナなど)

GW・年末年始

給与： J1 435,000円/月
J2 487,000円/月

手当： 副当直 J1 5,000円
J2 10,000円

扶養手当

60時間以上の超過勤務手当
副直： 4回/月 (GW・年末年始は別)

保険： 医師賠償責任保険加入

福利厚生： 健康診断 (年2回)
ワクチン接種 (インフル・コロナ・B
肝)

学会や講習費の補助 (100,000円/年)
リゾートトラストの宿泊

09 研修医の待遇についてです。勤務の基本時間は8:30出勤17:00退勤です。土曜出勤も月2回ありますが、当直の関係で代休が増えてしまい実際は土日がお休みです。休暇は年13日以上あり、研修医は指導医の許可のもと自由に年休を取得しています。給与は1年目435,000円、副直手当5,000円と少し安めに感じますが、2年目には給与487,000円、副直手当10,000円とUPがあります。超過勤務については、見込残業60時間のうち32時間分は当直での時間が含まれますので、忙しい診療科を研修した場合は60時間を超える場合もあります。とはいえ働き方改革でなるべく17時には帰りましょうというスタンスで勤務をしています。副直は月に4回程度で研修医が予定表を作成していますので当直不可日が出しやすいです。医師賠償責任保険は病院で加入していますが、個人で追加加入している研修医もいます。福利厚生としましては健康診断やワクチン接種が毎年あります。個人的に受ける講習会などの参加費や交通費の補助が年100,000円あるので活用している研修医がほとんどです。

Q 伊東に住んでみた感想を聞かせて下さい

- ・寮に温泉がついててありがとうございます
- ・気候がよい
- ・山も海も空もとても綺麗、近場のドライブも最高
- ・喧騒がなく落ち着いており都心のような生活上のストレスが皆無
- ・ご飯がおいしいです
- ・自然が素敵です
- ・生活に困ることはないし観光地も近いから息抜きもしやすいです

Q 当院を選んだ理由はなんですか？

- ・見学時の内科のカンファレンス内容&雰囲気がよかったです！
- ・研修医サポートの事務さん方が優しくて親切！ 院外研修も多くバラエティに富んでいる点 地元（横浜）に比較的すぐ戻れる
- ・研修医の裁量権が大きいです
- ・総合内科をやりたかった ベイにいける 全国の病院や診療所にいろいろな医療をみたり観光したりできる 海が近い 温泉がある 救急がそこそこ来る
- ・総合内科形式でCommonな病気を診ることができますし手技も経験できるから。

Q 指導は十分にしてもらえるのでしょうか？

- ・どこの病院でも同じとは思いますが指導して下さる先生による様に思います
- ・教育熱心な指導医の先生方が多いと思います
- ・はい！自分次第でいくらでも！
- ・上級医の方が親身に教えてくださります
- ・他の病院をみると十分とは言い難い
- ・どの科にいても研修医の状況をみながら十分に指導いただけています。

Q 手技はどのくらい経験できますか？

- ・自分が聞いていた程は経験できていない様な気がします
- ・自分次第でそれなりに
- ・望めばたくさんできます
- ・基本的な手技はある程度 専門的な手技はほとんどできない
- ・初期研修医が身につけるべき手技は十分経験できます。外科系救急の経験が少なくなってしまうため、縫合などの経験数が減ってしまうと感じます。

Q 病院スタッフとの関係はどうですか？

- ・自分の努力不足で診療科以外の先生以外はあまり日頃からのコミュニケーションという点では取れていないので、これから頑張ります
- ・自分の心がけ次第でとても良好
- ・とても優しいです
- ・良い みなさん優しいです
- ・看護師さんをはじめどの職種の方とも距離感が近く相談もしやすい関係性です。

Q マッチングに向けて大切なことはありますか？

- ・病院見学に行って実際の雰囲気を感じるところではないでしょうか
- ・初期研修2年間で大事にしたいポイントを明確にし本心で挑む
- ・自分にやりたいことを決めること それにあった病院を探すこと 研修したい内容や希望を決めずに病院を選ぶのは意味ないです
- ・コメディカルの方の雰囲気や病院全体の雰囲気が自分と合うか見学を通して考えれば入った後のミスマッチは少ないと思います。

Q その他何でも

- ・JADECOMのネットワークを通して様々な病院の様々な診療科の研修ができるため、どのような進路を選んでも対応できる研修体制だと思います。

10

10 最後に研修医に6つ質問をしてみました。居住環境、当院を選んだ理由、指導について、手技について、スタッフとの関係、マッチングに向けてのアドバイス、参考にしてみてください。



伊東市民病院 臨床研修センター



ご清聴ありがとうございました